

表 26. 質問項目 24. 時折私は矛盾していることを言うてくるたくさんのボス（詰め所の中で）が
 るように感じる。

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全くそうだ	18	2.8	2.9	2.9
	おおむねそうだ	26	4.1	4.2	7.1
	ややそうだ	116	18.3	18.7	25.8
	どちらともいえない	138	21.8	22.2	48.0
	ややそうではない	68	10.7	11.0	58.9
	おおむねそうではない	161	25.4	25.9	84.9
	全くそうではない	94	14.8	15.1	100.0
	合計	621	98.1	100.0	
欠損値	システム欠損値	12	1.9		
合計		633	100.0		

表 27. 質問項目 25. 看護業務において、私の上司がほとんど決断を行い、仕事における決断は私に
 はない。

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全くそうだ	12	1.9	1.9	1.9
	おおむねそうだ	11	1.7	1.8	3.7
	ややそうだ	50	7.9	8.0	11.7
	どちらともいえない	136	21.5	21.8	33.5
	ややそうではない	170	26.9	27.3	60.8
	おおむねそうではない	159	25.1	25.5	86.4
	全くそうではない	85	13.4	13.6	100.0
	合計	623	98.4	100.0	
欠損値	システム欠損値	10	1.6		
合計		633	100.0		

表 28. 質問項目 26. 私は時折、専門職として看護につながらないような仕事で要求されることがあ
 る。

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全くそうだ	17	2.7	2.7	2.7
	おおむねそうだ	33	5.2	5.3	8.0
	ややそうだ	135	21.3	21.7	29.7
	どちらともいえない	182	28.8	29.3	59.0
	ややそうではない	97	15.3	15.6	74.6
	おおむねそうではない	112	17.7	18.0	92.6
	全くそうではない	46	7.3	7.4	100.0
	合計	622	98.3	100.0	
欠損値	システム欠損値	11	1.7		
合計		633	100.0		

表 29. 質問項目 27. 適時, 重要な決定を下す自由が私の仕事にある.

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全くそうだ	13	2.1	2.1	2.1
	おおむねそうだ	56	8.8	9.0	11.1
	ややそうだ	157	24.8	25.3	36.4
	どちらともいえない	231	36.5	37.2	73.6
	ややそうではない	62	9.8	10.0	83.6
	おおむねそうではない	72	11.4	11.6	95.2
	全くそうではない	30	4.7	4.8	100.0
	合計	621	98.1	100.0	
欠損値	システム欠損値	12	1.9		
合計		633	100.0		

表 14 の転倒・転落に関する他職種との情報交換および職務満足度尺度の構成要素「医師と看護婦間の関係」に当たる質問項目の結果から、転倒・転落に関する組織的取り組みは厳しい状況ではないかと推測される。一方、「専門職としての自律」に関する質問項目の結果から約 8 割が日常の看護活動を自律してまたは主導権をもって実践していることが示された。

3-2-3. ベッドに関して

「ベッドからの転落」「ベッドまわりでの転倒」に対する対策として本研究班ではベッドの高さ、ベッド柵、ベッドに取り付けられる座位、立位支援バーなどを提唱している。それらに関する知識、実践状況および必要性等を質問した結果を表 30 から 35 に示す。

表 30. 質問項目 28. 私はベッドが患者にとって使いにくいのではないかと思うことがある.

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	422	66.7	69.1	69.1
	いいえ	189	29.9	30.9	100.0
	合計	611	96.5	100.0	
欠損値	システム欠損値	22	3.5		
合計		633	100.0		

約 7 割の看護師が、「患者にとって使いにくいベッド」と思うことがあると回答していた。先の結果に示した 9 割の看護師が物的対策を患者の状態に合わせて実施していることとこの結果を合わせて考えると、実施している対策は必ずしも十分とは思っていないということがわかる。

表 31. 質問項目 29. 起居動作支援（主に端座位保持～立ち上がり、または車椅子移乗）としてベッド柵に取り付ける介助バー（図 2）があるが、その種類、機能について知っている。

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全くそうだ	91	14.4	14.6	14.6
	おおむねそうだ	219	34.6	35.2	49.8
	ややそうだ	215	34.0	34.6	84.4
	どちらともいえない	57	9.0	9.2	93.6
	ややそうではない	24	3.8	3.9	97.4
	おおむねそうではない	10	1.6	1.6	99.0
	全くそうではない	6	0.9	1.0	100.0
	合計	622	98.3	100.0	
欠損値	システム欠損値	11	1.7		
合計		633	100.0		

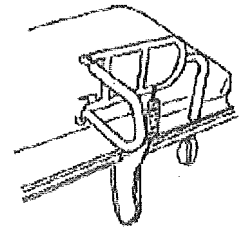


図 2. 介助バー

ベッド柵はもともと動作を指示する手すりの機能、耐久性は保持していない。しかし、ベッド柵を手すり代わりにして立ち座りに利用している場面を多く見かける。これに対応して、高齢者施設や在宅では動作を指示する手すり機能を持ったものとして介助バーが標準装備となっている。一方、急性期病院における普及率は低い。この理由に病院の特殊性があると考えられるが、生活支援用具に関する情報が急性期病院には提供されにくいということもあげられると考えた。表 29 の結果でも熟知している看護師は約 15%にとどまっていた。

表 32. 質問項目 30. ベッドからの立ち上がり動作の重心移動の Assessment から、患者が手をつきやすいベッド柵や安定性のある備品の配置を考えることがある。

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全くそうだ	376	59.4	60.4	60.4
	おおむねそうだ	162	25.6	26.0	86.4
	ややそうだ	58	9.2	9.3	95.7
	どちらともいえない	22	3.5	3.5	99.2
	ややそうではない	3	0.5	0.5	99.7
	全くそうではない	2	0.3	0.3	100.0
	合計	623	98.4	100.0	
	欠損値	システム欠損値	10	1.6	
合計		633	100.0		

表 32 から看護師のほとんどがベッドからの立ち上がり動作にベッドまわりの何らかの物を手すりの代用品として提供していることがわかる。

表 33. 質問項目 31. 私はベッドの高さを患者に合わせて上げ下げして使用したほうが良いと思う。

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全くそうだ	87	13.7	14.0	14.0
	おおむねそうだ	99	15.6	15.9	30.0
	ややそうだ	222	35.1	35.7	65.7
	どちらともいえない	160	25.3	25.8	91.5
	ややそうではない	28	4.4	4.5	96.0
	おおむねそうではない	19	3.0	3.1	99.0
	全くそうではない	6	0.9	1.0	100.0
	合計	621	98.1	100.0	
欠損値	システム欠損値	12	1.9		
合計		633	100.0		

実施しているか否かではなく、考えを尋ねている質問である。それに対して積極的に患者に合わせてベッドの高さ調整をしないという考えがあることは予想外であった。ベッドからの転落に対する傷害予防としてベッドの高さを最低にすることが優先されていることが理由なのか、今回の調査ではその理由は不明である。

表 34. 質問項目 32. 私は患者の動作能力によってベッド柵の形状（高さや大きさなど）が変更できたら良いと思う。

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全くそうだ	281	44.4	45.1	45.1
	おおむねそうだ	154	24.3	24.7	69.8
	ややそうだ	129	20.4	20.7	90.5
	どちらともいえない	47	7.4	7.5	98.1
	ややそうではない	7	1.1	1.1	99.2
	おおむねそうではない	5	0.8	0.8	100.0
	合計	623	98.4	100.0	
	欠損値	システム欠損値	10	1.6	
合計		633	100.0		

表 35. 質問項目 33. 私の病棟に介助バーは必要だと思う

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全くそうだ	186	29.4	30.0	30.0
	おおむねそうだ	117	18.5	18.8	48.8
	ややそうだ	159	25.1	25.6	74.4
	どちらともいえない	102	16.1	16.4	90.8
	ややそうではない	19	3.0	3.1	93.9
	おおむねそうではない	28	4.4	4.5	98.4
	全くそうではない	10	1.6	1.6	100.0
	合計	621	98.1	100.0	
欠損値	システム欠損値	12	1.9		
合計		633	100.0		

ベッド柵に関しては問題意識が高いことが示された。しかし、それが介助バーの必要性には直接結びつかない傾向が示された。看護師がベッド柵に問題を感じているのは、ベッドからの転落防止とし

ての柵の形状ではないかと推測される。介助が必要な患者が看護師をまたず自らベッドから下りようとしてずり落ち、転落するというインシデントは研究班が過去に調査した時にも比較的多く報告されていた。そのような転落防止のための柵が現状としては求められていることが考えられる。

3-2-4. トイレに関して

研究班ではトイレを「共有トイレ」「車椅子、介助用トイレ」と大きく2つに分け対策を提案している。今回の調査ではそれぞれのトイレ環境について質問した。

表 36. 質問項目 34. 私は病棟の共有トイレの照明は患者が排泄行為を行うことに適していると思う。

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全くそうだ	88	13.9	14.2	14.2
	おおむねそうだ	229	36.2	36.9	51.0
	ややそうだ	149	23.5	24.0	75.0
	どちらともいえない	97	15.3	15.6	90.7
	ややそうではない	37	5.8	6.0	96.6
	おおむねそうではない	16	2.5	2.6	99.2
	全くそうではない	5	0.8	0.8	100.0
	合計	621	98.1	100.0	
欠損値	システム欠損値	12	1.9		
合計		633	100.0		

表 37. 質問項目 34. 病院別

	A病院	B病院
全くそうだ	5.8%	17.9%
おおむねそうだ	30.9%	39.5%
ややそうだ	20.9%	25.3%
どちらともいえない	20.9%	13.3%
ややそうではない	12.0%	3.3%
おおむねそうではない	6.8%	0.7%
全くそうではない	2.6%	0.0%

表 38. 質問項目 35. 私は病棟の共有トイレの広さは患者排泄行為を行うことに適していると思う。

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全くそうだ	75	11.8	12.1	12.1
	おおむねそうだ	165	26.1	26.5	38.6
	ややそうだ	132	20.9	21.2	59.8
	どちらともいえない	93	14.7	15.0	74.8
	ややそうではない	74	11.7	11.9	86.7
	おおむねそうではない	46	7.3	7.4	94.1
	全くそうではない	37	5.8	5.9	100.0
	合計	622	98.3	100.0	
欠損値	システム欠損値	11	1.7		
合計		633	100.0		

表 39. 質問項目 35. 病院別

	A病院	B病院
全くそうだ	1.6%	16.7%
おおむねそうだ	12.0%	33.0%
ややそうだ	7.3%	27.4%
どちらともいえない	17.7%	13.7%
ややそうではない	22.9%	7.0%
おおむねそうではない	19.3%	2.1%
全くそうではない	19.3%	0.0%

表 40. 質問項目 36. 私は病棟の共有トイレの扉は患者にとって開閉しやすいと思う。

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全くそうだ	50	7.9	8.1	8.1
	おおむねそうだ	110	17.4	17.7	25.8
	ややそうだ	114	18.0	18.4	44.1
	どちらともいえない	113	17.9	18.2	62.3
	ややそうではない	108	17.1	17.4	79.7
	おおむねそうではない	59	9.3	9.5	89.2
	全くそうではない	67	10.6	10.8	100.0
	合計	621	98.1	100.0	
欠損値	ｼｽﾃﾑ欠損値	12	1.9		
合計		633	100.0		

表 41. 質問項目 36. 病院別

	A病院	B病院
全くそうだ	0.5%	11.4%
おおむねそうだ	2.1%	24.7%
ややそうだ	7.9%	23.0%
どちらともいえない	15.2%	19.5%
ややそうではない	25.1%	14.0%
おおむねそうではない	18.8%	5.3%
全くそうではない	30.4%	2.1%

表 42. 質問項目 37. 私は病棟の共有トイレの便座の高さは患者にとって立ち座りしやすいと思う。

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全くそうだ	44	7.0	7.1	7.1
	おおむねそうだ	144	22.7	23.2	30.3
	ややそうだ	165	26.1	26.6	56.8
	どちらともいえない	157	24.8	25.3	82.1
	ややそうではない	61	9.6	9.8	91.9
	おおむねそうではない	34	5.4	5.5	97.4
	全くそうではない	16	2.5	2.6	100.0
	合計	621	98.1	100.0	
欠損値	ｼｽﾃﾑ欠損値	12	1.9		
合計		633	100.0		

表 43. 質問項目 37. 病院別

	A病院	B病院
全くそうだ	1.0%	9.8%
おおむねそうだ	11.0%	28.6%
ややそうだ	17.3%	30.7%
どちらともいえない	34.6%	21.2%
ややそうではない	15.7%	7.2%
おおむねそうではない	12.6%	2.3%
全くそうではない	7.9%	0.2%

表 44. 質問項目 38. 私は病棟の共有トイレの便座座面の形状は患者にとって座り心地が良いと思う。

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全くそうだ	40	6.3	6.4	6.4
	おおむねそうだ	148	23.4	23.8	30.2
	ややそうだ	142	22.4	22.8	53.1
	どちらともいえない	216	34.1	34.7	87.8
	ややそうではない	37	5.8	5.9	93.7
	おおむねそうではない	20	3.2	3.2	96.9
	全くそうではない	19	3.0	3.1	100.0
	合計	622	98.3	100.0	
欠損値	17欠損値	11	1.7		
合計		633	100.0		

表 45. 質問項目 38. 病院別

	A病院	B病院
全くそうだ	2.1%	8.4%
おおむねそうだ	10.4%	29.8%
ややそうだ	15.1%	26.3%
どちらともいえない	41.7%	31.6%
ややそうではない	12.5%	3.0%
おおむねそうではない	9.4%	0.5%
全くそうではない	8.9%	0.5%

表 46. 質問項目 39. (共有トイレに手すりがある方のみご回答ください。) 私は病棟の共有トイレの手すりは患者にとって使いやすいと思う。

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全くそうだ	40	6.3	6.8	6.8
	おおむねそうだ	152	24.0	25.7	32.4
	ややそうだ	185	29.2	31.3	63.7
	どちらともいえない	124	19.6	20.9	84.6
	ややそうではない	45	7.1	7.6	92.2
	おおむねそうではない	31	4.9	5.2	97.5
	全くそうではない	15	2.4	2.5	100.0
	合計	592	93.5	100.0	
欠損値	システム欠損値	41	6.5		
合計		633	100.0		

表 47. 質問項目 39. 病院別

	A病院	B病院
全くそうだ	1.2%	8.9%
おおむねそうだ	7.9%	32.6%
ややそうだ	23.0%	34.4%
どちらともいえない	24.2%	19.7%
ややそうではない	20.0%	2.8%
おおむねそうではない	14.5%	1.6%
全くそうではない	9.1%	0.0%

表 48. 質問項目 40. 私は病棟の共有トイレの水洗方法 (水洗バー, 押しボタン式など) は患者にとって使いやすいと思う。

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全くそうだ	37	5.8	6.0	6.0
	おおむねそうだ	152	24.0	24.5	30.4
	ややそうだ	129	20.4	20.8	51.2
	どちらともいえない	130	20.5	20.9	72.1
	ややそうではない	87	13.7	14.0	86.2
	おおむねそうではない	45	7.1	7.2	93.4
	全くそうではない	41	6.5	6.6	100.0
	合計	621	98.1	100.0	
欠損値	システム欠損値	12	1.9		
合計		633	100.0		

表 49. 質問項目 40. 病院別

	A病院	B病院
全くそうだ	0.0%	8.6%
おおむねそうだ	6.3%	32.6%
ややそうだ	9.9%	25.6%
どちらともいえない	22.0%	20.5%
ややそうではない	24.1%	9.5%
おおむねそうではない	17.8%	2.6%
全くそうではない	19.9%	0.7%

表 50. 質問項目 41. 私は病棟の共有トイレのトイレトペーパー設置状況は患者にとって使いやす
いと思う。

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全くそうだ	39	6.2	6.3	6.3
	おおむねそうだ	153	24.2	24.7	31.0
	ややそうだ	199	31.4	32.1	63.2
	どちらともいえない	146	23.1	23.6	86.8
	ややそうではない	50	7.9	8.1	94.8
	おおむねそうではない	21	3.3	3.4	98.2
	全くそうではない	11	1.7	1.8	100.0
	合計	619	97.8	100.0	
欠損値	システム欠損値	14	2.2		
合計		633	100.0		

表 51. 質問項目 41. 病院別

	A病院	B病院
全くそうだ	0.0%	9.1%
おおむねそうだ	10.1%	31.2%
ややそうだ	28.6%	33.7%
どちらともいえない	31.7%	20.0%
ややそうではない	13.8%	5.6%
おおむねそうではない	10.1%	0.5%
全くそうではない	5.8%	0.0%

表 52. 質問項目 42. 私は病棟の共有トイレ内のナースコールは患者にとって使いやすいと思う。

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全くそうだ	34	5.4	5.5	5.5
	おおむねそうだ	133	21.0	21.6	27.1
	ややそうだ	162	25.6	26.3	53.3
	どちらともいえない	151	23.9	24.5	77.8
	ややそうではない	88	13.9	14.3	92.1
	おおむねそうではない	35	5.5	5.7	97.7
	全くそうではない	14	2.2	2.3	100.0
	合計	617	97.5	100.0	
欠損値	システム欠損値	16	2.5		
合計		633	100.0		

表 53. 質問項目 42. 病院別

	A病院	B病院
全くそうだ	2.1%	7.0%
おおむねそうだ	11.7%	25.9%
ややそうだ	22.9%	27.7%
どちらともいえない	26.1%	23.8%
ややそうではない	18.1%	12.6%
おおむねそうではない	12.8%	2.6%
全くそうではない	6.4%	0.5%

表 54. 質問項目 43. 私は病棟の車椅子用トイレの照明は患者が排泄行為を行うことに適していると思う。

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全くそうだ	64	10.1	10.5	10.5
	おおむねそうだ	217	34.3	35.7	46.3
	ややそうだ	148	23.4	24.4	70.7
	どちらともいえない	120	19.0	19.8	90.4
	ややそうではない	36	5.7	5.9	96.4
	おおむねそうではない	16	2.5	2.6	99.0
	全くそうではない	6	0.9	1.0	100.0
	合計	607	95.9	100.0	
欠損値	システム欠損値	26	4.1		
合計		633	100.0		

表 55. 質問項目 43. 病院別

	A病院	B病院
全くそうだ	5.6%	12.6%
おおむねそうだ	31.6%	37.4%
ややそうだ	19.2%	26.5%
どちらともいえない	20.3%	19.5%
ややそうではない	13.0%	3.0%
おおむねそうではない	7.3%	0.7%
全くそうではない	2.8%	0.2%

表 56. 質問項目 44. 私は病棟の車椅子用トイレの広さは患者が排泄行為を行うことに適していると思う。

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全くそうだ	64	10.1	10.5	10.5
	おおむねそうだ	182	28.8	29.8	40.3
	ややそうだ	145	22.9	23.8	64.1
	どちらともいえない	113	17.9	18.5	82.6
	ややそうではない	57	9.0	9.3	92.0
	おおむねそうではない	29	4.6	4.8	96.7
	全くそうではない	20	3.2	3.3	100.0
	合計	610	96.4	100.0	
欠損値	システム欠損値	23	3.6		
合計		633	100.0		

表 57. 質問項目 44. 病院別

	A病院	B病院
全くそうだ	4.5%	13.0%
おおむねそうだ	23.5%	32.5%
ややそうだ	15.1%	27.4%
どちらともいえない	19.6%	18.1%
ややそうではない	16.2%	6.5%
おおむねそうではない	11.2%	2.1%
全くそうではない	10.1%	0.5%

表 58. 質問項目 45. 私は病棟の車椅子用トイレの扉は患者にとって開閉しやすいと思う。

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全くそうだ	41	6.5	6.7	6.7
	おおむねそうだ	104	16.4	17.1	23.8
	ややそうだ	126	19.9	20.7	44.6
	どちらともいえない	135	21.3	22.2	66.8
	ややそうではない	97	15.3	16.0	82.7
	おおむねそうではない	60	9.5	9.9	92.6
	全くそうではない	45	7.1	7.4	100.0
	合計	608	96.1	100.0	
欠損値	ｼｽﾃﾑ欠損値	25	3.9		
合計		633	100.0		

表 59. 質問項目 45. 病院別

	A病院	B病院
全くそうだ	2.2%	8.6%
おおむねそうだ	7.3%	21.2%
ややそうだ	12.4%	24.2%
どちらともいえない	18.0%	24.0%
ややそうではない	18.5%	14.9%
おおむねそうではない	23.6%	4.2%
全くそうではない	18.0%	3.0%

表 60. 質問項目 46. 私は病棟の車椅子用トイレの便座の高さは患者にとって立ち座りしやすいと思う。

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全くそうだ	41	6.5	6.8	6.8
	おおむねそうだ	134	21.2	22.3	29.1
	ややそうだ	153	24.2	25.4	54.5
	どちらともいえない	169	26.7	28.1	82.6
	ややそうではない	65	10.3	10.8	93.4
	おおむねそうではない	24	3.8	4.0	97.3
	全くそうではない	16	2.5	2.7	100.0
	合計	602	95.1	100.0	
欠損値	ｼｽﾃﾑ欠損値	31	4.9		
合計		633	100.0		

表 61. 質問項目 46. 病院別

	A病院	B病院
全くそうだ	2.3%	8.7%
おおむねそうだ	10.2%	27.3%
ややそうだ	18.1%	28.5%
どちらともいえない	32.8%	26.1%
ややそうではない	18.1%	7.8%
おおむねそうではない	10.7%	1.2%
全くそうではない	7.9%	0.5%

表 62. 質問項目 47. 私は病棟の車椅子用トイレの便座座面の形状は患者にとって座り心地が良いと思う。

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全くそうだ	43	6.8	7.1	7.1
	おおむねそうだ	134	21.2	22.0	29.1
	ややそうだ	146	23.1	24.0	53.1
	どちらともいえない	214	33.8	35.2	88.3
	ややそうではない	45	7.1	7.4	95.7
	おおむねそうではない	15	2.4	2.5	98.2
	全くそうではない	11	1.7	1.8	100.0
	合計	608	96.1	100.0	
欠損値	システム欠損値	25	3.9		
合計		633	100.0		

表 63. 質問項目 47. 病院別

	A病院	B病院
全くそうだ	3.9%	8.4%
おおむねそうだ	8.9%	27.5%
ややそうだ	17.3%	26.8%
どちらともいえない	41.9%	32.4%
ややそうではない	15.6%	4.0%
おおむねそうではない	6.1%	0.9%
全くそうではない	6.1%	0.0%

表 64. 質問項目 48. (車椅子用トイレに手すりがある方のみご回答ください。) 私は病棟の車椅子用トイレの手すりは患者にとって使いやすいと思う。

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全くそうだ	45	7.1	7.6	7.6
	おおむねそうだ	152	24.0	25.5	33.1
	ややそうだ	168	26.5	28.2	61.2
	どちらともいえない	149	23.5	25.0	86.2
	ややそうではない	42	6.6	7.0	93.3
	おおむねそうではない	21	3.3	3.5	96.8
	全くそうではない	19	3.0	3.2	100.0
	合計	596	94.2	100.0	
欠損値	システム欠損値	37	5.8		
合計		633	100.0		

表 65. 質問項目 48. 病院別

	A病院	B病院
全くそうだ	2.4%	9.6%
おおむねそうだ	12.9%	30.5%
ややそうだ	21.8%	30.8%
どちらともいえない	27.1%	24.2%
ややそうではない	15.3%	3.8%
おおむねそうではない	10.0%	0.9%
全くそうではない	10.6%	0.2%

表 66. 質問項目 49. 私は病棟の車椅子用トイレの水洗方法（水洗バー、スイッチ、センサーなど）

は患者にとって使いやすいと思う。

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全くそうだ	38	6.0	6.3	6.3
	おおむねそうだ	147	23.2	24.3	30.5
	ややそうだ	147	23.2	24.3	54.8
	どちらともいえない	144	22.7	23.8	78.5
	ややそうではない	68	10.7	11.2	89.8
	おおむねそうではない	42	6.6	6.9	96.7
	全くそうではない	20	3.2	3.3	100.0
	合計	606	95.7	100.0	
欠損値	シテム欠損値	27	4.3		
合計		633	100.0		

表 67. 質問項目 49. 病院別

	A病院	B病院
全くそうだ	1.7%	8.2%
おおむねそうだ	11.3%	29.6%
ややそうだ	14.7%	28.2%
どちらともいえない	27.1%	22.4%
ややそうではない	16.9%	8.9%
おおむねそうではない	18.1%	2.3%
全くそうではない	10.2%	0.5%

表 68. 質問項目 50. 私は病棟の車椅子用トイレのトイレトーパー設置状況は患者にとって使いやすいと思う。

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全くそうだ	41	6.5	6.7	6.7
	おおむねそうだ	157	24.8	25.8	32.6
	ややそうだ	174	27.5	28.6	61.2
	どちらともいえない	152	24.0	25.0	86.2
	ややそうではない	49	7.7	8.1	94.2
	おおむねそうではない	26	4.1	4.3	98.5
	全くそうではない	9	1.4	1.5	100.0
	合計	608	96.1	100.0	
欠損値	システム欠損値	25	3.9		
合計		633	100.0		

表 69. 質問項目 50. 病院別

	A病院	B病院
全くそうだ	1.7%	8.8%
おおむねそうだ	13.0%	31.1%
ややそうだ	22.0%	31.3%
どちらともいえない	31.6%	22.3%
ややそうではない	15.3%	5.1%
おおむねそうではない	11.9%	1.2%
全くそうではない	4.5%	0.2%

表 70. 質問項目 51. 私は病棟の車椅子用トイレ内のナースコールは患者にとって使いやすいと思う。

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全くそうだ	33	5.2	5.4	5.4
	おおむねそうだ	139	22.0	22.9	28.3
	ややそうだ	158	25.0	26.0	54.3
	どちらともいえない	149	23.5	24.5	78.8
	ややそうではない	78	12.3	12.8	91.6
	おおむねそうではない	36	5.7	5.9	97.5
	全くそうではない	15	2.4	2.5	100.0
	合計	608	96.1	100.0	
欠損値	システム欠損値	25	3.9		
合計		633	100.0		

表 71. 質問項目 51. 病院別

	A病院	B病院
全くそうだ	2.3%	6.7%
おおむねそうだ	13.0%	26.9%
ややそうだ	19.8%	28.5%
どちらともいえない	26.6%	23.7%
ややそうではない	20.3%	9.7%
おおむねそうではない	11.3%	3.7%
全くそうではない	6.8%	0.7%

興味深いことに共有トイレ、車椅子用トイレともに各質問項目に対するそれぞれの回答の割合が同じような結果となった。「全くそうだ」から「ややそうだ」を肯定的回答とした場合、トイレの照明に関してのみ約7割が現状の照明に肯定的であった。その他の項目では現状の物、物の配置に関して肯定的にみているのは約半数であり、残りの半数は現状のトイレに問題があると感じていることがわかった。

病院の別が最も著明にでたのがこのトイレに関する項目であった。A病院は改築してまもない病棟とそうでない病棟が混在しており、B病院は建て直して間もない病院であった。トイレに関するすべての質問項目において前者の病院では「全くそうだ」という肯定的回答が2%前後であるのに対し、後者の病院では10%前後を占めていた。トイレという環境はベッドまわりに比べ個人対応が困難であり、既存の設備で対応しなければならないのが現状である。他者から見ても使いにくい環境で生じた事故とそうでない環境で生じた事故ではおのずと対策が異なってくる。トイレでの事故に関して、ハードの評価をなくしては行えないことがあらためて示された。

3-2-5. 車椅子、歩行器、点滴スタンドに関して

移動支援の道具に関して導入からメンテナンスに関係する質問を行った。

表 72. 質問項目 52. 私の病棟では車椅子や歩行器などの移動支援に関する福祉機器のメンテナンスに看護師以外のスタッフが関わっている。

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	414	65.4	68.3	68.3
	いいえ	192	30.3	31.7	100.0
	合計	606	95.7	100.0	
欠損値	99	25	3.9		
	システム欠損値	2	0.3		
	合計	27	4.3		
合計		633	100.0		

表 73. 質問項目 53. 私の病棟では点滴スタンドのメンテナンスに看護師以外のスタッフが関わっている。

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	246	38.9	41.1	41.1
	いいえ	352	55.6	58.9	100.0
	合計	598	94.5	100.0	
欠損値	99	34	5.4		
	システム欠損値	1	0.2		
	合計	35	5.5		
合計		633	100.0		

同じ病院間でも回答が別れた。このことから、組織的対応というよりは病棟ごとに対応していることが推測される。中央管理されるME機器とは異なる「物」であることが再認識された。

表 74. 質問項目 54. 私は現在使用の病棟の車椅子は患者にとって使いやすいと思う。

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全くそうだ	14	2.2	2.3	2.3
	おおむねそうだ	64	10.1	10.3	12.5
	ややそうだ	130	20.5	20.9	33.4
	どちらともいえない	213	33.6	34.2	67.7
	ややそうではない	112	17.7	18.0	85.7
	おおむねそうではない	67	10.6	10.8	96.5
	全くそうではない	22	3.5	3.5	100.0
	合計	622	98.3	100.0	
欠損値	ナシ	11	1.7		
合計		633	100.0		

表 75. 質問項目 55. 私は車椅子の座り心地までアセスメントしている。

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全くそうだ	11	1.7	1.8	1.8
	おおむねそうだ	41	6.5	6.6	8.4
	ややそうだ	126	19.9	20.3	28.7
	どちらともいえない	152	24.0	24.5	53.1
	ややそうではない	139	22.0	22.4	75.5
	おおむねそうではない	108	17.1	17.4	92.9
	全くそうではない	44	7.0	7.1	100.0
	合計	621	98.1	100.0	
欠損値	ナシ	12	1.9		
合計		633	100.0		

現状の車椅子に関して良い評価はしておらず、さらに座り心地の評価もあまり行われていない現状が明らかとなった。その一方で早期離床を推進し、車椅子に乗っている時間をできるだけ保持しようとする傾向もある。他者から見ても良いとは思えず座り心地の考慮もされていない車椅子から、患者が逃れようと立ち上がる行為があっても当然といえる。車椅子からの立ち上がり、滑り落ち防止のための安全ベルトと称した抑制帯の使用以前に、離床を進めるのであれば車椅子、座位姿勢評価および適切な車椅子の配備が必要ではないかと考える。

表 76. 質問項目 56. 私の病棟では点滴スタンドを押しながらトイレなどに行く患者は多いと思う。

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全くそうだ	137	21.6	22.0	22.0
	おおむねそうだ	135	21.3	21.7	43.7
	ややそうだ	144	22.7	23.2	66.9
	どちらともいえない	66	10.4	10.6	77.5
	ややそうではない	46	7.3	7.4	84.9
	おおむねそうではない	45	7.1	7.2	92.1
	全くそうではない	49	7.7	7.9	100.0
	合計	622	98.3	100.0	
欠損値	システム欠損値	11	1.7		
合計		633	100.0		

表 77. 質問項目 56. 病院別

	A病院	B病院
全くそうだ	30.4%	18.2%
おおむねそうだ	25.3%	20.1%
ややそうだ	21.6%	23.8%
どちらともいえない	7.7%	11.9%
ややそうではない	5.7%	8.2%
おおむねそうではない	4.1%	8.6%
全くそうではない	5.2%	9.1%

表 78. 質問項目 57. 私は点滴スタンドを杖代わりに患者が使用することは危険だと思う。

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全くそうだ	288	45.5	46.4	46.4
	おおむねそうだ	129	20.4	20.8	67.1
	ややそうだ	111	17.5	17.9	85.0
	どちらともいえない	67	10.6	10.8	95.8
	ややそうではない	16	2.5	2.6	98.4
	おおむねそうではない	8	1.3	1.3	99.7
	全くそうではない	2	0.3	0.3	100.0
	合計	621	98.1	100.0	
欠損値	システム欠損値	12	1.9		
合計		633	100.0		

表 79. 質問項目 57. 病院別

	A病院	B病院
全くそうだ	25.4%	55.8%
おおむねそうだ	21.2%	20.6%
ややそうだ	28.5%	13.1%
どちらともいえない	18.7%	7.2%
ややそうではない	4.1%	1.9%
おおむねそうではない	2.1%	0.9%
全くそうではない	0.0%	0.5%

表 80. 質問項目 58. 私の病棟では歩行器や杖など歩行補助具の必要性がある.

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全くそうだ	153	24.2	24.7	24.7
	おおむねそうだ	109	17.2	17.6	42.3
	ややそうだ	195	30.8	31.5	73.7
	どちらともいえない	78	12.3	12.6	86.3
	ややそうではない	27	4.3	4.4	90.6
	おおむねそうではない	34	5.4	5.5	96.1
	全くそうではない	24	3.8	3.9	100.0
	合計	620	97.9	100.0	
欠損値	99	1	0.2		
	ｼｽﾃﾑ欠損値	12	1.9		
	合計	13	2.1		
合計		633	100.0		

表 81. 質問項目 59. 私は歩行器や杖を患者に合わせて調整できる.

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全くそうだ	66	10.4	10.6	10.6
	おおむねそうだ	96	15.2	15.5	26.1
	ややそうだ	161	25.4	26.0	52.1
	どちらともいえない	150	23.7	24.2	76.3
	ややそうではない	67	10.6	10.8	87.1
	おおむねそうではない	54	8.5	8.7	95.8
	全くそうではない	26	4.1	4.2	100.0
	合計	620	97.9	100.0	
欠損値	ｼｽﾃﾑ欠損値	13	2.1		
合計		633	100.0		

質問項目 56 と 57 では病院間の違いが若干出た。A 病院では B 病院よりも点滴スタンドを使用してのトイレ歩行患者が多い割合を示したが、そのことを危険と感じる割合は B 病院よりも少なかった。一見 A 病院は危機意識が低いのではないかと考えるが、安定性の良い点滴スタンドの導入、使用している患者タイプにもより、一概にそうとは言いきれない。また、項目 58 の歩行補助具の必要性に関しては A 病院の方が「全くそうだ」と回答している割合が高くなっている。歩行補助具の必要性に関して全体においても約 7 割が必要と感じている結果となったが、約半数はそれらの用具の調整が困難と回答している。車椅子での結果も含め、移動補助具に関してはその必要性は看護師が評価できるが、用具の選択、調整は現状においては理学療法士などがこれらの分野に特化した職種が担うことが望ましいと考える。

3-2-6. センサー（離床センサー、床敷きセンサーなど）に関して

表 82. 質問項目 60. あなたの病棟ではセンサーを導入していますか.

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	273	43.1	44.0	44.0
	いいえ	347	54.8	56.0	100.0
	合計	620	97.9	100.0	
欠損値	ｼｽﾃﾑ欠損値	13	2.1		
合計		633	100.0		